次世代DX人材「超上流エンジニア」の育成とウイングの伴走支援

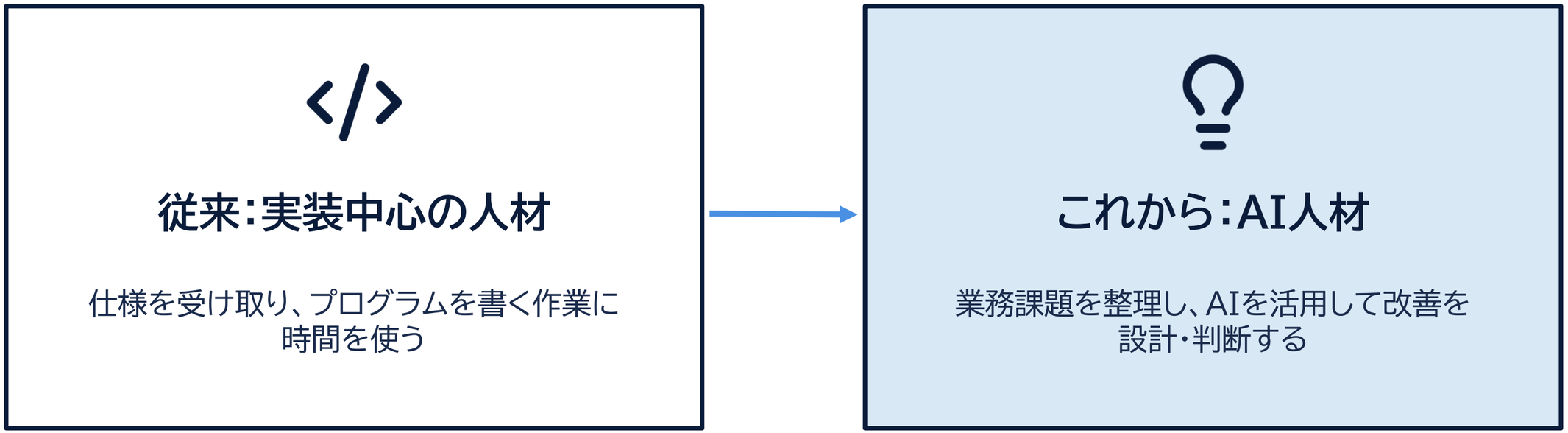
GFAを生かし、業務を知る人が変革を動かす

株式会社ウイング
DXビタミン推進室 首都圏チーム部長 兼 営業推進チーム 部長
中川　正也

©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

IT人材からAI人材へ：求められる力が変わる

GFAがAIを活用して業務要件を設計し、GeneXusがその設計を実装します。



人は改善対象と要件を判断し、GFAで設計する力が価値になります。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

内製化で大切なのは「業務を変えられる人」

AIが実装を支援するほど、人は業務課題の判断に集中する。

内製化の起点は、技術そのものではありません。現場の困りごとを「改善すべき業務」として言語化し、成果を判断できる人材です。

現場を観察する

時間・二重入力・待ち時間などの困りごとを捉える

課題を言語化する

困りごとを、改善すべき業務として整理する

効果を判断する

時間・ミス・利用者の声で改善効果を確認する

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

超上流エンジニアは、業務とITを要件につなぐ

業務部門の課題と情報システム部門の条件を、改善の要件へ整理する

① 業務部門の情報を受け取る

困りごと・業務ルール・利用者の声
を確認する

② 要件に整理する

改善対象・優先順位・要件を整理し
GFAで設計する

③ IT部門と条件を確認する

データ・権限・連携・運用の条件を
確認する

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

AI時代でも、人が担う三つの判断

設計内容が業務で使えるかを、三者が役割に応じて確認します。

業務部門が確認する

業務ルールどおりで、現場の
困りごとを減らせるか

利用者が確認する

入力しやすく、実際の手順で
使い続けられるか

情報システム部門が確認する

データ・権限・連携・運用の
条件を満たすか

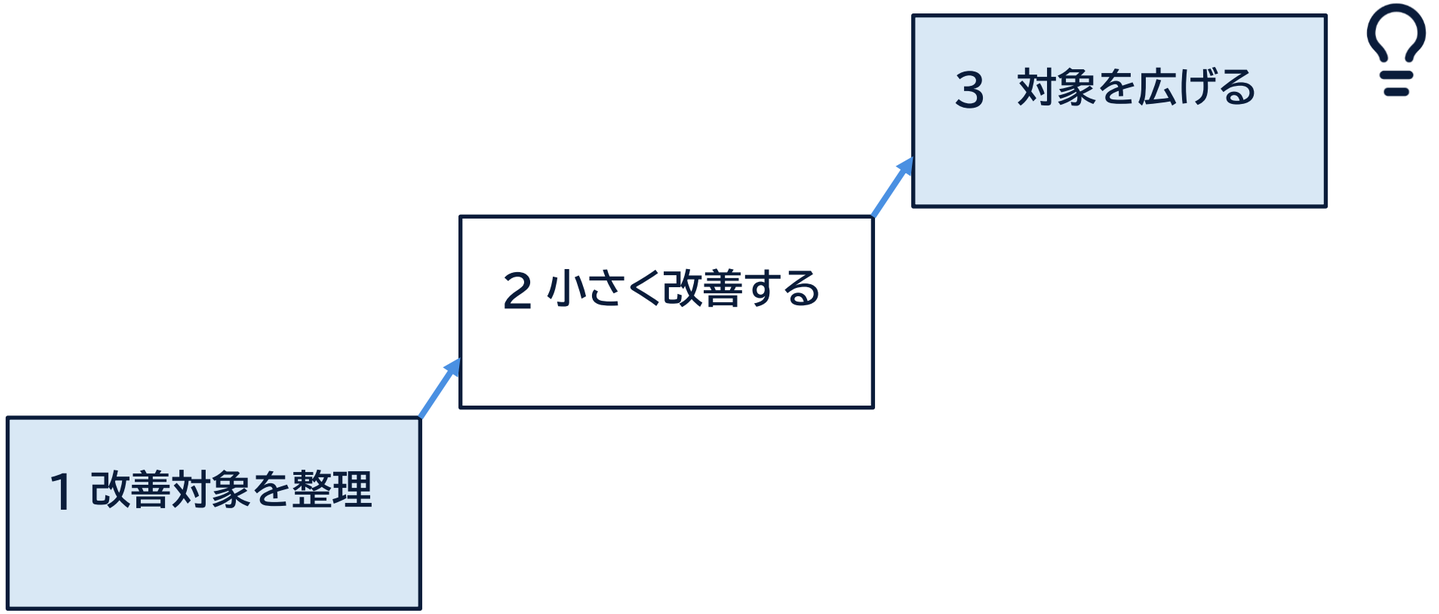
超上流エンジニアが確認結果を取りまとめ、設計内容へ反映します。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

現場の経験を、改善を進める力へ変える

改善対象を選べる人が、最初の担い手になる。

現場の手順・困りごと・利用者の声を知っている人は、効果が出やすい改善対象を選び、関係部門との合意をつくれます。



改善対象を選び、設計し、現場で結果を確認します。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

三者の役割を分けて、内製化を進める

業務部門・要件をまとめる候補者・情報システム部門が、役割を分けて進めます。

業務部門

困りごと・業務ルール・
利用者の声を伝える

要件をまとめる候補者

改善対象・優先順位・
要件を整理する

情報システム部門

データ・権限・連携・運用を確認し、
実装と運用を技術面から支える

三者が情報をつなぐことで、改善を組織の活動として続けられます。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

実案件を通じて、設計・開発の進め方を身につける

業務部門が改善対象を選ぶ
現場の困りごとから、
小さな業務を一つ選ぶ

現場で結果を確認する
使いやすさと課題を、
次の改善に反映する

実案件を通じて、改善対象の選び方と要件整理を身につける
ウイングが進め方を伴走し、結果を次の改善に生かす

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

要件定義後からリリースまでの、三つの伴走モデル

要件定義後の構築・リリース支援を、御社の開発体制とリリース条件に合わせて選びます。

顧客主体モデル

お客様が開発を主に担う

お客様が要件定義後の開発を主導。当社は設計・技術判断・レビューで支援します。

OJT型モデル

開発体制の人数が足りない場合

当社が開発を主導。お客様メンバーが参画し、実務で開発を身につけます。

共同開発モデル

期限までのリリースを加速

お客様の開発を維持しつつ、当社も開発を担い、指導と並行して構築します。

対象は要件定義後のシステム構築からリリースまで、御社の体制と期限に合わせて選びます。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

御社のロードマップを描く

GFAで扱う最初の業務テーマを、体制・対象業務・優先度に合わせて決めます。

1

現状を確認する

体制・スキル・対象業務・制約を整理する

2

小さく始める

成果が見えやすい業務テーマを選び、まず試す

3

成果を確かめる

業務時間・品質・利用者の声を確認し、改善する

4

次へ広げる

次の業務・部門へ、無理のない範囲で広げる

GFAで小さな成功を積み重ねることが、全社的な内製化を進める近道です

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

今日から始める、次世代の内製化

まずは、現場で一つ。
改善したい業務を選びます。

- 時間がかかっている業務
- 担当者に頼り切りの業務
- 現場から改善の声が多い業務

GFA・GeneXus 無料相談・デモ

個別相談：GFA・GeneXusの導入と
内製化の進め方をご相談いただけます。
デモ：GFAの操作をご紹介します

GFA紹介ページ
動画デモもご覧いただけます

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

生成AI時代の業務改善・内製化は、単に基盤ツールを導入するだけで完了するものではありません。
業務部門、情報システム部門、そして両者をつなぐ超上流の「人」が協力し、小さな改善を積み重ねること。
ウイングは、その組織づくりを全力で伴走支援します。

WeING ©Copyright WeING Co.,Ltd. All Rights Reserved.